

理科 小学校 第5学年

個々の問題の出題の意図及びその正答率

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率	
	大問	小問	通番		科学的な思考	観察・実験の技能・表現	知識・理解		
A 生物とその環境	1	1	1	準備された実験の様子から、どの発芽の条件を調べることができる。	○			75.6	
		2	2	マメを空気にふれないようにする実験を行うことができる。		○		42.7	
		3	3	マメの発芽には適当な温度が必要であることから、発芽しないわけについて考え、説明することができる。	○			77.9	
	2	1	4	発芽後のマメの様子の変化がわかっている。			○	86.5	
		2	5				○	76.8	
		3	6	マメにたくわえられていた養分が成長に使われたことを、ヨウ素液を使った実験の結果と結び付けて考えることができる。	○			70.4	
		4	7	マメにたくわえられている養分の名前がわかっている。			○	48.8	
	3	1	8	花粉のはたらきを調べる実験方法を身に付けている。		○		95.5	
		2	9	ヘチマが実をつけるために必要なことを考え、説明することができる。	○			70.4	
		3(1)	10	顕微鏡の正しい使い方を身に付けている。		○		78.0	
		3(2)	11			○		69.7	
	4 選択	A	12	メダカの卵の様子の変化がわかっている。 お母さんのおなかの中にいる赤ちゃんの様子の変化がわかっている。			○	95.6	
		B	13	メダカは、卵から養分を取り入れて成長することがわかっている。 赤ちゃんは「へそのお」から養分を取り入れて成長することがわかっている。			○	91.4	
	B 物質とエネルギー	5	1	14	くぎぬきのどこを持つと小さな力でくぎがぬけるかがわかっている。			○	80.4
			2	15	てこを使った実験で、どの条件を変えて実験すると、くぎをぬくときの手ごたえの違いが説明できるかを考えることができる。	○			54.7
			3	16	支点から力を加える位置までの距離を変えると、手ごたえが変わることがわかっている。			○	43.2
4			17	てこがつりあうときのきまりを使って考えることができる。	○			80.9	
6		1	18	メスシリンダーを使って正確に水をはかりとる方法を身に付けている。		○		54.1	
		2	19			○		92.9	
C 地球と宇宙	7	1	20	気温を測るための正しい方法を身に付けている。		○		72.0	
		2	21	気温の測定結果のグラフへの表し方を身に付けている。		○		78.6	
		3	22	1日の気温の変化の記録と日本付近の雲の動きを結びつけて、天気の変化について考えることができる。	○			66.8	
	8	1	23	実験の記録と実際の川の様子を結びつけて、流れる水のはたらきについて考えることができる。	○			78.5	
			24		○			78.3	
		2	25	川の流れる曲がっているところの外側と内側とで、水の流れる速さが違うことがわかっている。			○	74.6	
		3	26	水の流れる速さの違いを調べる方法を身に付けている。		○		40.4	
		4	27	川の増水の原因を、上流で降った雨と結び付けて考え、説明することができる。	○			44.3	